



平成 30 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社力の源ホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長 河原 成美
(コード番号：3561 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 C F O 粕谷 進一
(TEL. 03-6264-3899)

第 2 四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向及び本日公表いたしました「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」の内容を踏まえ、平成 30 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想及び通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,303	百万円 438	百万円 421	百万円 361	円 銭 15.47
今回修正予想 (B)	13,108	368	387	361	15.48
増減額 (B-A)	△195	△69	△33	0	
増減率 (%)	△1.5	△15.9	△8.0	0.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	11,776	366	409	362	16.04

2. 平成 31 年 3 月期通期 (累計) 連結業績予想の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 28,077	百万円 1,150	百万円 1,100	百万円 740	円 銭 31.62
今回修正予想 (B)	27,243	1,012	985	668	28.60
増減額 (B-A)	△834	△137	△114	△71	
増減率 (%)	△3.0	△12.0	△10.4	△9.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	24,451	905	872	634	27.85

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記に記載の「1株当たり純利益」は、当該分割が平成30年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

3. 修正の理由

当社グループは、国内店舗運営事業において136店舗（平成30年6月末現在）を展開しておりますが、第2四半期連結会計期間の当事業における出店は、概ね計画通りに推移しております。一方で「一風堂」を中心とする既存店につきましては、観測史上初ともいわれる猛暑日が続いたことや、大型台風や記録的豪雨に伴う店舗営業停止等の影響もあり、当期8月までの累計既存店売上高実績が対前年比94.8%と期初計画の前提となる対前年比100%を下回って推移しております。

既存店の個店別の状況といたしましては、都心部を中心に増収を続けている店舗と、立地に課題があり減収となった店舗の2極化が進んでおります。そこで、経営資源の効率化及び収益性の向上を図るべく、不採算店舗の閉店、出店エリア・出店形態等の見直しの検討、更なる顧客満足度の向上を目的とした既存店改装及び顧客数増加のための販売促進活動を推進いたします。それにより、下半期売上高においては上半期に比べると回復し、既存店の売上高対前年比は97%になると見込んでおります。

また、費用の面では、人財難に伴う労働者賃金の上昇や既存店売上高が期初計画を下回って推移していることによる人件費率の上昇、並びに上半期においては食材を店舗に配送する際の物流費の上昇による損益に与える影響が予想を上回って推移していることが、営業利益の押し下げ要因となっております。下半期においては「商物流改革」に取り組んでいることから物流費上昇の影響は軽減できるものの、その効果を加味しても通期では利益減少要因となるものと考えております。

海外店舗運営事業につきましては、売上高及び利益面共に期初計画を上回って推移しており、今後も同様の傾向が継続するものと見込んでおります。

国内商品販売事業につきましては、平成30年9月6日付で公表いたしました「当社グループ製品（ペットボトル入り混合調味料）の自主回収のお詫びとお知らせ」の影響により、期初計画に比べ、売上高及び利益の減少が見込まれます。

加えて、本日公表いたしました「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、第2四半期において特別利益246百万円及び特別損失110百万円の発生を見込んでおります。

以上の結果、第2四半期連結業績予想数値及び通期連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

※ 上記予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因により本資料記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上